

# たていわ きょうがみさき 立岩・経ヶ岬コース

京都府京丹後市丹後町（丹後天橋立大江山国定公園）

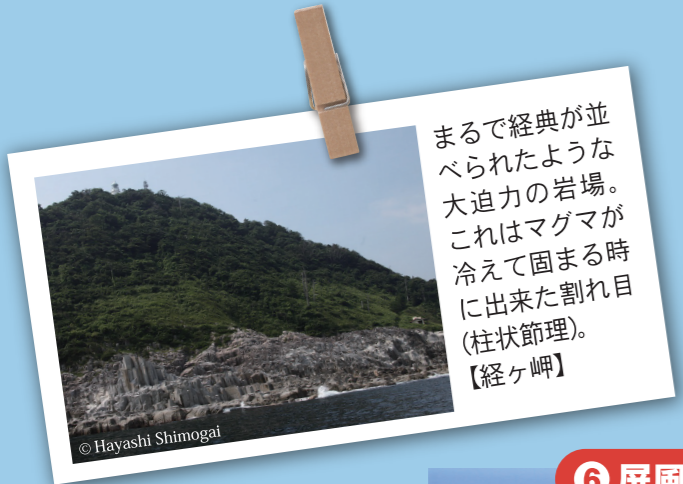
マリンコース



山陰海岸ジオパーク  
モデルコース



水田の広がる海岸段丘、砂州で陸とつながった小さな島々、小さな入り江にできた漁村や砂浜。このようなのかな風景に、犬ヶ岬や経ヶ岬などの断崖絶壁が変化を与えています。日本海に面するこの美しい海岸にははるか昔から人々が暮らしていました。海からは日本海の荒波により形成された犬ヶ岬・経ヶ岬のダイナミックな岩壁や、青の美しさが特に際立つ青の洞窟などが楽しめます。



**遊漁船とび丸タクシー**  
tel.080-2527-2558 (要予約)

**遊覧船のりば**

運航期間：4~9月  
(出航場所により異なる)  
※天候や海の状態により、船が出られない場合があります。  
● 竹野漁港出港

**クイズ**

ハートマークがある洞窟はどこでしょう？



**5 青の洞窟**



**3 丹後松島**



**6 屏風岩**



**8 立岩**

**10 城嶋**

**9 間人漁港**

**7 大成古墳群**

**4 犬ヶ岬**

**高嶋オートキャンプ場**  
http://tango-takashima.com  
にて予約受付中

**2 袖志の棚田(日本棚田百選)**

散策モデルコースMAP「立岩周辺散策」あり！

- 凡例**
- 遊覧船のコース
  - 遊歩道
  - 主な見どころ
  - 海水浴場
  - 駐車場
  - トイレ
  - 日帰り温泉
  - レストラン

美しい自然を守るため、石や植物は観察するだけにしましょう。危険な場所や立ち入り禁止の場所には、入らないようにしてください。持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ！



**1 経ヶ岬**

● 海心洞(かいしんどう)  
(海食洞。穴文珠の菩薩像が安置されていた)



**7 大成古墳群**

**8 立岩**

**9 間人漁港**

**10 城嶋**

情報を得るならここ！

**山陰海岸ジオパーク 京丹後市情報センター**  
(道の駅てんきてんき丹後内)  
tel.0772-75-1411

**てんきてんき丹後オートキャンプ場**  
tel.0772-75-2525

## 1 経ヶ岬



© Hayashi Shimogai

経ヶ岬は丹後半島の先端に突き出した近畿最北端の岬です。海岸部には、柱状の岩石が縦に何本も並んでいます。これが経巻を立てたように見えることから「経ヶ岬」の名前がつけられたといわれています。柱状の岩石は、約400万年前の火山の噴火で流れ出した溶岩で、冷え固まる時に縦の割れ目模様(柱状節理)ができました。

## 2 袖志の棚田



京丹後市丹後町袖志の段丘には約400枚の棚田が広がっています。この棚田はおよそ4段の段丘からできていますが、これらは約10~12万年前の海食台がその後地殻変動による隆起と海面の低下によって海面から離れ形成されたものです。棚田と海、集落が調和した美しい景観は、「日本の棚田百選」に選定されています。

## 3 丹後松島



犬ヶ岬の東から経ヶ岬方向に見る、島々と砂浜の作り出す海岸線の眺めは、日本三景のひとつ「松島」に似ているため、「丹後松島」と呼ばれています。これは海岸段丘の台地が波浪などにより侵食され、一部が島として残ったものです。

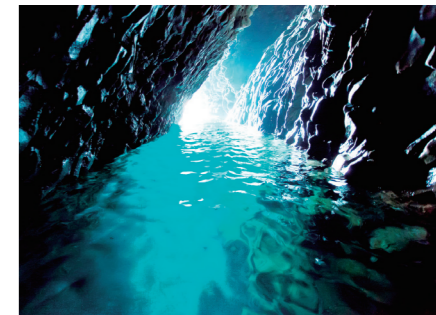
## 4 犬ヶ岬



© Hayashi Shimogai

京丹後市丹後町此代の西側から北に突き出した岬で、犬が寝そべっているように見えることから「犬ヶ岬」と呼ばれています。岬は安山岩でできており、海へと延びた山裾は侵食されて切り立っています。その先端部では柱状節理を見ることができます。

## 5 青の洞窟



海食洞のうち、太陽光が直接入らないくらい奥が深く、海の深さが比較的深いものは、内部が青く見えます。これは、太陽光が海水を通過する過程で波長の長い赤い光が水に吸収され、波長の短い青い光だけが海中深くまで進み、海底などで反射・拡散するためです。

## 6 屏風岩



海面から突然屏風のようにそびえる屏風岩は、柔らかい凝灰岩の地層中にマグマが入り込み、冷え固まった安山岩が、その後、周りの地層が侵食により削り取られ、硬い安山岩の岩脈が取り残されて現在の姿となりました。屏風岩の沖合いにも数個の島がありますが、岩脈は板状の形をしているので、これらは全て一直線上に並んでいます。

## 7 大成古墳群



大成台地上にある古墳群で、市の史跡に指定されています。全13基の古墳の内、全長8.7mある八号墳は石室の規模が最も大きく、土師器や須恵器、勾玉、管玉などの副葬品が多数出土しました。石室の石材にはこの場所の岩盤である安山岩の自然石を巧みに配置しています。

## 8 立岩



後ヶ浜東端の竹野川河口に位置する周囲1km、高さ約20mの巨岩です。地下から上昇してきたマグマが固まったもので、その後の侵食により周囲の地層が削り取られてこの岩が残されました。垂直に延びた柱状節理が美しいことで有名です。その巨大さからも地域のシンボルとして親しまれています。

## 9 間人漁港



丹後半島の沖合には、日本海の形成過程で生まれた海岸線からわずか15kmで水深200mに達する急深な海底や、尾根と谷の起伏に富んだ海底地形があります。そこを漁場として間人港からは日帰り操業が行われ、間人ガニ(ズワイガニ)をはじめ、新鮮な魚介類が水揚げされています。

## 10 城嶋



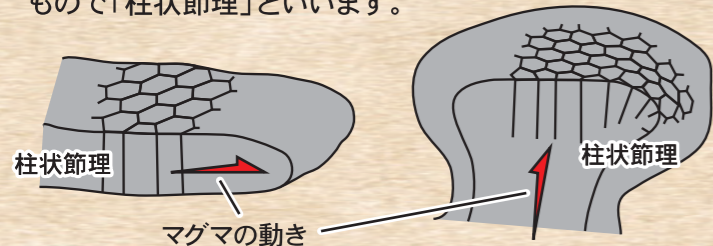
間人の西にある周囲4kmほどの小さな島で、天正年間には荒川武蔵守がこの島に居館を構えたといわれており、現在は公園となっています。この島を作る岩石は約1500万年前の火山活動によりもたらされた凝灰岩で、島の北側や東側には波食棚が広がっています。

### ジオコラム 1

## 地球は偉大なアーティスト！ 「柱状節理」と「海食地形」



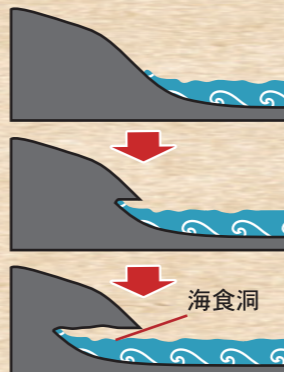
立岩や経ヶ岬など、このあたり一帯には縦方向の割れ目模様が美しい火山岩がたくさんあります。この割れ目模様は、マグマが冷えて固まる過程でできるもので「柱状節理」といいます。



柱状節理は表面(冷却面)に対して垂直にできる。表面の形が複雑だと、柱状節理も複雑な形になる。

柱状節理のある岩が風雨や波にさらされると、この割れ目模様に沿ってブロック状に崩壊していきます。その結果、経ヶ岬や立岩のような、柱を並べたような景観が生まれます。波が特定の場所を掘り進むと、そこに洞窟ができます。このように、地球の様々な活動の結果、現在の美しい景観が生まれました。

### <海食洞の作り方>



波が特定の場所を掘り進むと、洞窟ができる。(海食洞)

### ジオコラム 2

## 海岸に広がる段々の地形 「海岸段丘」

立岩から経ヶ岬にかけては、崖の上に平坦な面が広がる階段のような地形と山がそのまま海に接するような地形が連続します。階段のような地形は「海岸段丘」といい、海岸の侵食と隆起や海面低下でできます。岩盤が硬い火山岩でできている犬ヶ岬や経ヶ岬は侵食されにくいので平らにならず、山がそのまま海に接するような地形になっています。



①波打ち際で岩盤が削られ、平らな面ができる。

②大地が持ち上がった(隆起)、海面が下がったりすると、波打ち際でできた平らな面が持ち上がり、段ができる。持ち上がった面のことを「段丘面」とい

### クイズの答え

愛の洞窟の入り口にある岩の表面にあるよ。  
詳しくは船長さんに聞いてみよう！

山陰海岸ジオパーク  
京丹後市情報センター  
(道の駅てんきてんき丹後内)  
tel.0772-75-1411

京丹後市観光公社  
tel.0772-72-6070

[協力] 写真提供：下雅意 敏  
[制作] 山陰海岸ジオパーク推進協議会

兵庫県立大学大学院  
地域資源マネジメント研究科